

職種別対話会（民生児童委員）でいただいたご意見と回答						R06.10.31 民生委員・児童委員との対話会	
NO.	テーマ	分類	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
1	民生委員の後継者不足について 民生委員の活動の周知について	【地域づくり】	共通	民生委員・児童委員の後継者探しは、地域住民と協力しながら進める必要がありますが、現状では非常に難しい状況です。人間関係が希薄になり、助け合う気持ちが育ちににくいことが問題です。 民生委員がいなくても、地域全体で助け合える環境を作りたいと考え、努力を続けています。今後、民生委員活動の見直しを行い、活動しやすく、負担が減るように工夫していきたいと思っています。 また、民生委員に対する市民の理解も課題です。名前は知っていても、具体的な活動内容を知らない市民が多いです。そこで、5年前に広報専門部会を立ち上げ、広報誌を作成しました。少しは理解が深まったかと思いますが、今後も続けていきたいと考えています。	民生児童委員の皆さんに大きな負担がかかっているのは、地域のつながりが少なく、後継者を確保しづらいことが一因です。また、多くの委員が60歳を超えても働いており、70歳を超えても現役で活動している方もいます。このような状況では、制度を取り巻く環境が難しくなっていると感じています。 地域のつながりを強化するためには、関わりをつくり続けることが重要です。お祭りや市民活動団体が主催するイベントなどを通じて、地域の人々がコミュニケーションを取る機会を増やすことが大切です。こうした取り組みを続けることで、少しずつまちづくりに関わる人が増えるといいと考えています。 実際、私もさまざまなイベントを通じて、リタイア後に地域活動に参加するようになった人々を見してきました。行政としても、こうした活動を支えるために、資金面だけでなく、場所の提供など細かい部分での支援を考えていきます。	—	社会福祉課
2	災害時要援護者について 地域コミュニティについて	【地域づくり】	共通	災害時要援護者制度についてですが、制度があっても具体的な動きが見えず、トップダウンのアプローチではうまくいかないことが多いです。隣近所の支援が必要ですが、支援者が不足しています。10年前から町内会や自治会の組織が弱体化していることが課題です。 地域住民が支え合い、お互い様の気持ちで暮らせる環境を作ることが重要です。町内会や自治会の普及が進んでいますが、さらに小さな単位から支え合いの仕組みを育てることが必要です。これができないと、災害時の要援護者制度もうまく機能しないと思います。 町内会は支え合いの基盤であり、お互い様の精神で地域に住むことができるようにする役割があります。市長にも地域コミュニティでのコミュニケーションを促進する取り組みをお願いしたいです。		—	社会福祉課
3	地域の過疎化について	【地域づくり】	永治地区	永治小学校がなくなったことで、木刈や小大森小に通う子どもたちが増えました。これにより、地域の人間関係が希薄化しています。若い世代が外に出てしまい、高齢化が進んでいます。以前は小学校で顔を合わせていたため、近所の人々の顔が分かりましたが、今では誰が誰なのかわからない状況です。 見守りの名簿を見ても、65歳以上の方々の顔は知っているものの、30代以下の若い世代はほとんど知らないという現状があります。	学校が近くにないため、地域を離れざるを得ない状況があるのは悩ましいです。ただ、自然が豊かな場所で子育てをしたいというお声も多くいただいております。 たとえば別所地区では、ジョイフル本田まで車で5分という便利さと自然の豊かさが魅力となっています。一方で、新しくやってきた方が、地域に溶け込むのは難しいと感じられる状況もあると思います。市のPRやマッチングを通じて、地域と外部の方々をつなぐ役割が重要です。私は地域コーディネーターや移住定住コーディネーターの役割を数年後に作れればと考えています。 全国的に過疎が進んでいる地域が多い中で、印西市は利便性が高いという強みがあります。ニュータウンが近く、東京や成田空港までのアクセスも良好です。この強みを生かして、人の流れを変える取り組みを進めていきたいです。	—	企画政策課、交通政策課、経済振興課、都市計画課、建築指導課、指導課

職種別対話会（民生児童委員）でいただいたご意見と回答						R06.10.31 民生委員・児童委員との対話会	
NO.	テーマ	分類	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
4	通学時の安全について	【交通・インフラ・防災】	原、西の原、草深地区	小学校や中学校の定員が増え、南環状線を渡って通学する子どもが多くなっています。ニュータウン地区は車道と歩道がはっきりしているため比較的安全ですが、草深地域は道が狭く、通学が危険です。スクールゾーンの設置などの対策が必要です。 先日、西の原中学校の生徒が信号のない歩道で事故に遭いました。幸い元気に通学していますが、地域としては信号の設置を強く要望しています。警察や県警にも協力をお願いしたいです。	新たなスクールバスの運行にあたっては、物価高や人手不足の問題もあり難しいところがあります。 スクールゾーンや信号の設置を含めた通学路の安全対策については、課題として認識しており、関係機関と連携を進めていきます。	—	市民活動推進課
5	遠方への通学について	【交通・インフラ・防災】	共通	船穂小学校は小規模特認校として、学区外からも子どもたちが通っています。先日の運動会では、子どもたちが以前の小学校の体操着を着ている姿が見られました。これはとても重要なことです。 特認校にはスクールバスがなく、親御さんが送り迎えをしなければならない状況です。もっと多くの子どもたちが通えるように、ぜひ支援をお願いしたいです。	船穂小学校に通学する子ども達については、牧の原駅圏や千葉ニュータウン中央駅圏からふれあいバスを利用した通学ができないか、バスの時刻表の調整等を検討しています。	—	学務課
6	自主防災組織による避難所運営について	【交通・インフラ・防災】	共通	災害があったときに自分一人では大変で手助けが必要な方が要支援者として登録しています。2412名ほどいますが、実際に避難行動要支援者の、個別の作成計画の作成が216件、1割もいっていません。制度が全く生きていないと思います。 自主防災組織の連絡会を作ることが重要です。災害時に市の職員が避難所を開けた後、地域住民が運営を行うため、事前に連絡会がないと自治会ではうまく運営できません。 自主防災組織と自治会・町内会は別の組織です。市として自治会・町内会の連合体がありますが、それだけでは避難所運営は難しいです。この点について、ぜひ検討をお願いしたいです。	例えば能登半島では、地震に加えて大雨による被害など、今まででは予期しなかった災害が起こっています。こうした中、市としても防災対策を強化していくことが大切考えています。 印西市では、地盤が固いということで防災意識が高くないという現状もあります。実際に災害が起きたことを想定した時、市の職員は800人しかいないため、地域の方々との協力が不可欠です。防災の強化に向けて、市では、関係部と改善点を洗い出し議論を進めていきます。	—	防災課
7	地域交通について	【交通・インフラ・防災】	印旛地区	印旛地区のふれあいバスについてですが、印旛支所から舞姫地区や本埜に抜けるルートはあるものの、平賀地区には乗り入れがありません。そのため、印旛学園や酒々井から日医大に行くバスに乗るためには、まず300円かけて印旛支所まで行く必要があります。 印旛支所からは、乳幼児、小学生、障害者手帳保持者および介助者1名、そして70歳以上の方は「ふれあいフレアイカ」により令和2年から無料で利用できますが、そこまでの往復には600円かかります。一方、本埜地区では800円のタクシーチケットが使えるため、印旛地区から見ると不公平に感じます。 平賀地区にもふれあいバスの乗り入れを検討するか、タクシーチケットの導入を提案していただけるとありがたいです。	現在、試験的に実施しているタクシー助成を、本埜地域からまずは市街化調整区域全域に広げようとしています。また、ニュータウンでもシニア世代が多い地域（高花や木刈）がありますので、移動に係る支援を検討していきます。 買い物や病院への移動については、多くの市民の方からお声をいただいています。このことについても市としてどのような対応ができるか、考えてまいります。 平賀学園台地区を中心に多くの声をいただいておりますフレアイカについては、印旛地域を走る路線バスにも導入をできないか検討しているところです。	—	交通政策課
8	高齢者の移動手段について	【交通・インフラ・防災】	共通	高齢でもみんな車を持っていて、運転しています。車がなければどこへも行けないので、90歳代でも近場なら運転しています。しかし、いずれは運転が難しくなり、危険を感じることもあります。ふれあいバスやタクシーなど、移動手段を考える必要があります。資金面の問題はありますが、足代わりになるサービスを検討すべきです。 また、近くに買い物をする場所がないため、車があるうちは買い物に行けますが、行けなくなったときにどうするかが課題です。JAの移動販売があるものの、もっと買いやすくする方法を考えてほしいです。		—	交通政策課
9	フリースクールについて	【教育・子育て】	共通	フリースクールについて、印西市で何か今、支援とか何か検討されたりしていますか。	現在、制度設計を進めており、私の公約にも含まれています。まずは民間で活動する方々を支援する制度を作り、来年度には始められるように準備中です。 不登校児のための場所が不足しており、学校内のフリースクールや民間の施設も数と種類が重要です。印西市内には民間のフリースクールが2つしかないため、助成を増やして数と種類を増やし、子どもたちに合ったフリースクールを提供することが目標です。	—	生涯学習課
10	不登校の子どもの対応について	【教育・子育て】	共通	小学生や中学生の不登校の子どもたちのための施設についてですが、冷房が入らず使えないという問題があります。これに対して、現在では20人から30人に1人の割合で不登校の子どもがいると言われています。通える場所を増やしてほしいです。 学校に行けない子どもたちは本当にかわいそうですし、義務教育なので市としてもしっかり対応してほしいです。		—	生涯学習課
11	入浴施設整備について	【医療・介護・健康・福祉】	千葉ニュータウン地区	ニュータウン地区に入浴施設を作ってほしいという要望があります。総合福祉センターなどの施設はありますが、ニュータウン地区には全くありません。高齢者からも長年、新しい入浴施設を作ってほしいという声が上がっています。 駅周辺の開発が進んでいるので、その中に市の施設を作るのであれば、ぜひ入浴施設を検討していただきたいです。	吉田建設中の新しいクリーンセンターには、地域振興策の有力な候補として温浴施設があげられています。ニュータウンからは少し距離がありますが、道がつながっているので車で15分ほどで行けると 생각합니다。まずはそちらをご利用いただけるとありがたいです。	—	クリーン推進課
12	民生委員の負担軽減について	【医療・介護・健康・福祉】	共通	協議会事務局の業務を社協に委託する件については、副市長にもお話ししており、副市長がよく存じます。この話題は、地区定例会でも取り上げられていました。	ご提案いただいた内容については、持ち帰って確認させていただきます。	社会福祉協議会との協議を行います。	社会福祉課

職種別対話会（民生児童委員）でいただいたご意見と回答					R06.10.31 民生委員・児童委員との対話会		
NO.	テーマ	分類	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	関係課
13	いんざい健康ちょきん運動の実施場所の料金について	【医療・介護・健康・福祉】	共通	健康ちょきん運動は多くの場所で行われていますが、マンションなどの会場を使う際に費用がかかることがあります。高齢者の健康づくりや、週1回集まることで人間関係を築くためにも重要な活動です。少額でも補助があると助かります。	ご提案いただいた内容については、持ち帰って確認させていただきます。	いんざい健康ちょきん運動は、市民が自発的にグループを作り、集まりやすい場所で活動しています。公民館やコミュニティセンターなどの公共施設を有料で利用するグループもあれば、自治会やマンションの集会施設を利用するグループもあります。これらの活動は、個人の健康づくりや介護予防、地域の活性化に重要です。 施設の利用にはルールがあるため、施設管理者やグループ内での協議が必要です。市としては、新しいグループの立ち上げや活動の継続を支援し、健康ちょきん運動の目的や効果を広めていきたいと考えています。	高齢者福祉課
14	公営住宅について	【医療・介護・健康・福祉】	共通	印西市には公営住宅がないのが不思議です。白井市にはあるのに、印西市にはないため、年金だけでは家賃が高くて住めないという声があります。安い賃貸住宅を提供するために、市長の力で何とかしてほしいです。印西市には資金があると言われているので、ぜひ検討していただきたいです。	印西市では、これまでこうした役割をURに担っていただいたと認識しています。URの賃貸住宅でも空きがあるといった状況を踏まえつつ、対応を考えていきたいと思います。今後の課題として認識をいたしました。	公営住宅を含めた居住支援については、住宅部門と福祉部門の連携が必要ですが、具体的な協議は行っていない状況です。 県内の公営住宅の状況（R5.4.1） 県、市町営住宅なし： 印西市、富里市、栄町、東庄町、多古町 県営住宅のみあり： 白井市 関連法、制度 公営住宅法 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律（住宅セーフティネット法） 住宅確保要配慮者の入居を拒まない登録住宅： 印西市内：73棟 554戸（R6.11.11現在空きなし）	建築指導課
15	民生児童委員の報告の電子化について	【医療・介護・健康・福祉】	共通	現在、委員の活動報告は手書き形式で行われており、自分で集計して社会福祉課に送る形になっています。これが非常に大変で、担当課での集計も手間がかかっています。そろそろデータ入力方式に移行していただきたいです。 ただ、パソコンに入力しない方もいらっしゃるので、紙の形式も残しつつ進めていただけると助かります。	可能なものはデジタル化することを前提として、持ち帰り確認します。	報告書の様式について、エクセルによるシートを作成し、民生委員児童委員の皆さんへ共有しました。今後もデジタル化ができるものは委員の皆様と相談の上、検討してまいります。	社会福祉課
16	墓園の不足について	【医療・介護・健康・福祉】	共通	墓園の管理をしています。高齢者の方々は亡くなった後の埋葬場所について心配しています。現在、販売できる墓地がない状況で、先日予定していた4期工事が否決されました。なぜ否決されたのか、その理由を知りたいです。	印西地区の場合、白井市は栄町と広域の組合をつくっています。そのトップを管理者として印西市長が歴代務めており、私が現在その役割を担っています。組合の下にはお墓以外にもクリーンセンターなどが含まれています。 霊園のお墓が不足しているため、入札を予定していましたが、事業費が高騰していることから議会において承認をいただくことができませんでした。ご指摘のとおり墓地が不足する状況を認識しておりますので、早急に今後の対応を検討してまいります。	—	クリーン推進課